

N-S.P.Cウォール工法

(覆工方式・道路構築方式・気泡混合軽量盛土)

QS-000001-A

新技術の概要

S.P.Cウォール工法は、法面等の掘削が最小限で、プレキャストコンクリート基礎、並びにパネル（化粧版）を鋼管型緊張ロッドにより連結し、キャンティレバー方式の自立壁面を積上げる。さらに、背面に安価な気泡混合軽量材等で軽量盛土構造物を構築する技術。特に、既設道路の防護、拡幅道路、堤防嵩上げに高い効果がある。

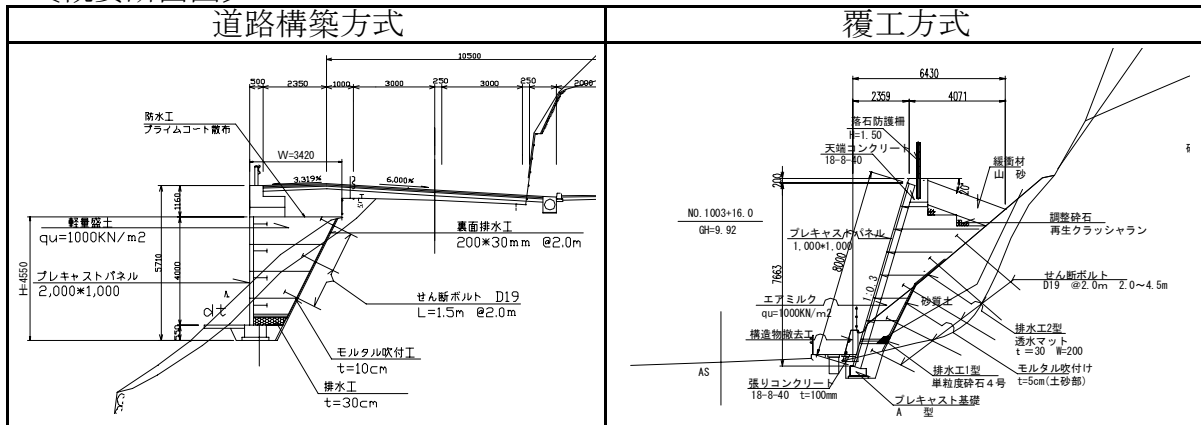
新技術の特徴

- プレキャストパネル（化粧版）を鋼管型緊張ロッドで連結し、キャンティレバー方式による一段の高さ1.0m毎の積上げで、背面の軽量盛土（気泡混合モルタル等）が高さ1.0m毎に構築出来る。尚、永久アンカー、せん断ボルトの補強も可能。
- 地山を最小限の掘削（定着1.0m程度）で施工でき、地山（斜面・底盤）には補強土工（ロックボルト工）により、補強する。
- プレキャスト化粧版を永久型枠部材として、軽量盛土（気泡混合モルタル等）を高さ1.0m毎に打設するので、施工性に富む。

新技術の適用範囲

- 覆工方式において
 - ①既設の道路の落石、崩壊の防護②トンネル坑口の落石防護③民家の隣接する斜面崩壊防護
- 道路構築方式において
 - ①急傾斜地道路拡幅②河川部道路拡幅③橋台土圧軽減④橋梁構築
- 河川構造物において
 - ①老朽化護岸防護②堤防嵩上げ

[概要断面図]



N-S.P.C工法構造研究会

(事務局) 西日本エス・ピー・シー株式会社
 〒812-0013
 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目9-5 (池松ビル503)
 TEL:092-433-4040 FAX:092-433-4060
 E-mail:n-spc@proof.ocn.ne.jp